

手話言語に関する特別講演会

8/3（土） 国立国語研究所多目的室

参加費：無料

参加申込み：不要

英語による講演，日本手話通訳つき



「手話の談話における指示と空間使用」

講師：シャーマン・ウィルコックス教授（ニューメキシコ大学）

Pointing and Placing in Signed Language Discourse

今夏、認知言語学的な手話研究の第一人者であるシャーマン・ウィルコックス教授が再来日します。

手話言語に特徴的な空間を使用した参照と談話構成の仕組み（指さし、動詞の一致など）について紹介し、どのように言語理論を空間的な言語である手話について適用できるのか、講義します。

講演は英語でおこないますが、日本手話への通訳もつきますので、言語学者、ろう者、手話話者問わず、ふるってご参加ください。



日時 2019年8月3日（土） 10:00~12:00

場所 国立国語研究所多目的室（東京都立川市）

多摩モノレール「高松駅」より徒歩約7分、

JR「立川駅」より徒歩20分）

使用言語 講演は英語で行われます。

また、日本手話への同時通訳を行います。

お問い合わせ：高嶋由布子（[yufuko.t\[at\]gmail.com](mailto:yufuko.t[at]gmail.com)）※[at]を@に変更して下さい。

主催：国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本の消滅危機

言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」

シャーマン・ウィルコックス教授

現在、ニューメキシコ大学言語学科教授。国際認知言語学会運営委員、国際誌Cognitive LinguisticsのAssociate Editorを勤める。著書にGesture and the Nature of Language(D. ArmstrongとW. Stokoeとの共著)、American Deaf Cultureなど。手話言語、ろう文化、手話通訳に関する論文多数。ブラジル、中国、日本、イギリス、スペイン、イラン、サウジアラビア、フィンランドなどの手話言語学者の養成・共同研究を行っている。